名補佐役、大いに語る！

企業インタビューシリーズ　⑲

―IPO を目指すと様々な道がある－

松田　喜実（まつだ　よしみ）

株式会社アキュテクス　金沢支社長

事業内容の紹介

アキュテクスは、お客様のＰＤＣＡサイクルを、システム開発を通して協力にサポートします。

・ソフトウェア受託開発　　・システム/ネットワークインテグレーション
・インターネット関連ソフトウェア開発　・ISMS 等各種コンサルティング　　（HP より）

松田さんのプロフィール

出身地：鳥取県　年齢：47 歳　家族構成：妻、娘 2 人、義父母

編集局　御出身地は？

松田　鳥取県出身です。学生時代を京都で過ごし、アルトマークという大阪のベンチャー企業に就職しました。国立民族学博物館での研究者支援やシステム開発、製薬企業向けに東京や大阪で様々な開発に携わりました。金沢にきてからはコスモサミットにお世話になりました。当時はかなり長い間 PFU さんとも仕事をさせて頂いたんですよ。なので PFU さんは大好きです。
ベンチャー企業で仕事をしてきたお陰で色々な開発に関わることができて、殆どの言語も扱うことが出来ました。

編集局　ご家族は？

松田　妻と娘が二人います。妻が小松の出身なのでこちらに来たというわけです。石川県の女性は県外の男性を石川県に引き寄せる力があるようです。私の周りにも奥さんが石川県の出身でこちらへ来たという人が結構いるんですよ（笑）。でも、妻には心から感謝しています。
娘達はまだ学生ですが、自分の好きなことをやって沢山の経験をして欲しいと思っています。私は父親として、人生の先輩として彼女達の人生のサポートをすることが役割だと思っています。
私は男兄弟だけだったので、自分の時の親子関係は参考になりませんね。彼女達が幸せならそれが一番良いのではないでしょうか。

編集局　お仕事の内容は？

松田　現在、当社が最も力をいれているのは、電子決済（ネット決済）関係です。PC、モバイルを問わず Web 系の仕事も多いですね。多くの皆さんに使ってもらえるコンテンツの提供が、社長と私の目指すところです。
1 年ほど前に東方神起やブルーマンの「チケット販売システム」など Avex 等のコンテンツ、最近では、「美人時計」のような面白いコンテンツにもかかわりました。

編集局　美人時計とは？

松田　これは坪井が関与している事業です。

写真のように時間を持った女の子の写真が分刻みで変わるという簡単なシステムですが、かなり人気があるんですよ。勿論、健全なコンテンツです(笑)
iPhone アプリ、iGoogle や MyYahoo!のウィジェットなどとして広がりをみせています（iPhone でデモ）。現在でも企画展開中で、多くの可能性を持っていますし、これをきっかけに iPhone アプリの開発案件も展開しています。

編集局　金沢の印象は？

松田　金沢にきて 13 年たちますが、会社と自宅（小松）の往復で、余り石川県のことは知りませんでしたが、ISA が主導したＥービジネストライアルに参加したお陰で石川県を知ることができました。
仕事と私的な両方で色々な出会いがあったことも財産になっています。細野会長には感謝しています。
金沢は京都と雰囲気が似ていますが、終の棲家として間違いないところだと思います。
都会的なものもあるし古き良きものもある、住んでいる人が金沢を愛しているところも素敵だと思います。
小松は飛行機の騒音さえなければ良いところです(笑)

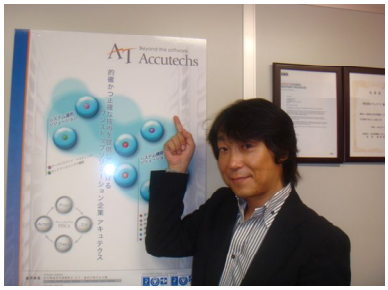
安宅のような歴史的なところがあるし、SOHO や NPO などの活動も盛んです。

編集局　ご趣味は？
松田　車の運転が好きです。ふらっと伊勢までいったりして・・・。故郷の鳥取へも車で帰ります。日光東照宮まで家族で行ったこともあるんですよ（笑）
小学校の頃からトランペットやギター等楽器は一通りやっていましたが､学生時代の音楽部での企画や運営が楽しかったです。社会人になってもやっていました。コンサートで「ステージに演者を立たせる」というプロデュース経験が社会人になって役に立っています。
過って、コスモサミットの吉田社長が「会社は社員にステージを提供するので、社員はそのステージで演じてほしい」と言われた時はとても共感しました。今もそれを忘れずに仕事をしています。

編集局　部下の指導で気を付けていることは？
松田　スタッフが 10 名程度のベンチャー企業なので、仕事をキチッとやってくれれば、ラフな格好でも OK です。相手に失礼がないように TPO には気を付けてもらいます。
Ｅービジネストライアルで私のコーチに「ネクタイをはずせ」と言われました｡「ネクタイを締めていると、締めた答えしかでない」「脱既成概念と自由発想の誘発」ということです。坪井社長も同じ考えだと思います。

編集局　最近、気になるニュースは？
松田　やっぱり、政権交代ですよね(笑)
テレビのニュースは良くみます。というより昔からテレビっこなので、テレビを良く見るんです。
最近はＮＨＫが面白いですね。「目指せ！会社の星！」なんか・・、東京カワイイは参考になります。仕事のアイディアにも繋がります。テレビは映像・画像デザインや情報発信方法の宝庫だと思います。

編集局　今後のビジョンは？
松田　IPO ですね。IPO を目指すと様々な道があるので・・・。
コンピュータサイエンスの中で独自のものを見つけたいと思っています。決済関係は勿論ですが、時流に合わせたものにも積極的に取り組みたいですね。
社長の坪井はベンチャー魂をもったエクスプローラーです。坪井と共に我々のできるコンテンツは何かを考え、パートナー企業さんとも協力しながら自分達の得意分野を増やしていきたいですね。



編集局　ISA へ一言
松田　ISA との出会いには感謝しています。
石川県のような地方都市で、企業が一丸となって業界を育てるのは中々難しいと思いますが、ISA には歴史があります。継続は力だと思いますね。
世代交代という話に関しては、上手くやって欲しいと思います。細野会長にはいつまでもシンボルでいて欲しいです。求心力がないとお家騒動が起こるのは世の常ですからね。
引退した人達にお願いしたいのは、「若い人たちに自分の方から声をかけてください」ということです。大先輩に声をかけられることで帰属意識が芽生えます｡若い人の方から大先輩に声をかけることは中々できませんからね。
私も以前、細野会長や吉田副会長に声をかけてもらえて嬉しかったですよ。ISA の仲間入りが出来たと感じました。
横のつながりも必要ですね。パイプ役に相応しい人が理事になられるのは良い方法だと思います。

＜編集局ブログ＞
ジーパン姿の若い青年が案内をしてくれて会議室に通されました｡その姿にベンチャー企業の新鮮なエネルギーを感じました｡「堅苦しいスーツなど着なくても仕事は出来る、TPO を考えて相手に不快感を与えなければそれでいい」という松田支社長の考えが浸透しているようです。
学生時代に起業されたという坪井社長(32 歳)にとっては、それを支える松田支社長の存在は大きいのでしょうね｡松田支社長がいるから坪井社長は新しい分野へドンドン挑戦していけるといったところでしょうか。
「会社は素晴らしいステージを提供するところ・・・」というかつての上司の言葉を胸に刻み、色々な場面での出会いに感謝するところが松田支社長の魅力のようです。